

科目番号		52021	分類	助産管理学	履修者	高度実践助産コース			学年	
科目名	地域助産活動論 (Advanced Community-based care for Maternal and Child Health)								1	
									配当セスター	
									後期	
担当者	○渡邊香 他8名			区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連			
【概要】 ここでは、助産師の開業権を生かし母子および家族のニーズに沿った地域助産活動とは何か。また地域を拠点とする自営業としての実際の助産所の経営管理について学び、これらを踏まえて助産所開業計画を立案し、効果的な医療連携システム（他職種含む）のあり方を検討・考察する。 【目標】 1. 母子及び家庭のニーズに沿った地域助産活動について説明できる（行政施策の動向を含む）。 2. 日本の助産所経営の現状と特質を説明できる。 3. 助産管理目標を7つの分野（マーケティング、イノベーション、生産性、経営資源、利益、社会貢献、人材育成）から考え効果的な助産管理を説明できる。 4. 助産所の経営管理、特に財務管理（損益分岐点分析と演習）について説明できる。 5. 助産業務の安全性（判断基準と救急支援システム）について説明できる。 6. 「いいお産」の実現のために：フィーリングバースの実践力（演習）を実践できる。							○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
							○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
							○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
							○	4.周産期の救急時に対応できる能力		
							○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
								6.研究・開発能力		
								7.倫理的意思決定能力		
授 業 計 画										
回	内 容								担当教員	
第1回	地域助産活動論のガイダンス、日本の助産所経営の現状と課題								渡邊 他8名	
第2回	経営学の基本・地域活性化、マーケティング理論の概説と応用									
第3回	地域医療連携システム論―地域医療連携の役割①									
第4回	地域医療連携システム論―地域医療連携の役割②									
第5回	地域医療連携システム論―地域医療連携の動向									
第6・7回	開業助産所の運営と演習（地域開業について、家庭訪問含む） 開業助産所の運営の実際（母乳ケア、その手技と開業、見学）									
第8回	開業助産所の運営と演習（桶谷式母乳ケアの理論と地域での活動）									
第9・10回	開業助産所の運営と演習（桶谷式母乳ケア、その手技と開業）開業助産所の 運営と演習（桶谷式母乳ケアセンター見学）									
第11・12回	産後ケアセンターと地域連携（産後ケアセンター、現地講義） 産後ケアの実際（産後ケアセンター見学）									
第13回	助産所における妊娠期の健康管理と分娩期のケア（腹帯、分娩期の介助含む）									
第14回	助産所におけるフリースタイル分娩の介助法の理論と実際									
第15回	総合講義、助産所開業計画の立案									
事前・事後学習	事前学習：各回の必須図書で該当する部分を読んでおくこと。 事後学習：配布資料を復習する。また、現地講義・見学3施設のレポートを課す。									
評価の方法	課題レポート（40%）、見学レポート（3施設×15%）、授業討論の参加状況（15%）で、総合的に評価する。									
参考図書・資料等	◎新版 助産師業務要覧 第4版 [Ⅰ基礎編]、2024 福井トシ子 日本看護協会出版会 ・助産業務ガイドライン2024 日本助産師会 ・助産所開業マニュアル 2021 ―開設・管理・運営― 日本助産師会出版 ・新版 助産師業務要覧 第4版 [Ⅲアドバンス編]、2024、福井トシ子 日本看護協会 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。									
備考	オフィスアワーについては学生便覧を参照し教員と日程調整をする。フィードバックは適宜行う。 ＊講義内容の順番については変更あり									